



平成 30 年 12 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社NFKホールディングス
代表者名 代表取締役社長 関口 陽介
(JASDAQ・コード6494)
問合せ先 取締役 古池 政巳
(電話番号 045-575-8000)

株主による臨時株主総会の招集請求に関するお知らせ

当社は、当社株主であるオリンピア工業株式会社（以下「本株主」といいます。）より、臨時株主総会の招集請求（以下「本請求」といいます。）に関する書面を平成30年12月5日付で受領し、個別株主通知の確認が完了致しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本請求をした者

オリンピア工業株式会社（議決権所有割合 3.45%）

（東京都立川市富士見町7-33-28 代表取締役 宮原 英輔）

総株主の議決権の100分の3以上の議決権を6ヶ月前から引き続き有する株主であります。また、代表取締役の宮原英輔氏につきましては、当社の社外取締役に就任しております。

2. 本請求の内容

(1) 株主総会の目的たる事項

- ①取締役3名（関口陽介氏、古池政巳氏、田端雅和氏）の解任の件
- ②取締役3名（谷端一樹氏、松永敏宏氏、関昌弘氏）の選任の件

(2) 招集の理由

本株主は、当社の労働組合より、当社において研究開発や技術継承のための若手育成等に経営資源が投入されておらず、事業存続も危うい状態になっており、その改善のために常勤取締役3名の解任が必要である旨等が記載された要望書を受領し、労働組合との面談を経て、当社が更なる成長を遂げ、企業価値の向上を図るためには、常勤取締役3名を解任した上で、当社グループの事業内容に知見を有し、協業により当社グループの事業拡大を期待できる株式会社GPEの代表取締役である谷端一樹氏らを取締役として選任する必要があるとの結論に至り、臨時株主総会の招集を請求することと致しました（詳細は別紙ご参照）。

(3) その他

本株主は、臨時株主総会の開催が現状の改善の唯一の手段とは考えておらず、当社及びそのグループ企業の従業員、株主等のステークホルダーに対する利益の実現に向けた対話による解決も歓迎しております。

3. 本請求への対応方針

本請求に関する当社取締役会の方針につきましては、本請求の内容等を慎重に検討したうえで、決定次第お知らせする予定です。

以 上

【招集の理由】

当社、オリンピア工業株式会社は、平成 30 年 11 月 25 日付で NFK ホールディングス株式会社（以下、「NFK」といいます。）グループの労働組合である NFK 労働組合より、NFK の常勤取締役 3 名（関口陽介氏、古池政巳氏及び田端雅和氏）を解任し、NFK グループの事業内容に知見を有する者を取締役として選任することを求める旨の要望書を受領しました。

当該要望書には、従業員が新規製品の研究開発及び技術継承のための若手育成等に経営資源を投入するよう複数回提言しているにもかかわらず NFK の取締役会に諮られることが無かった旨、常勤取締役 3 名が財務状況の改善に向けた事業拡大等の NFK の将来展望を考えずに、小手先の利益を計上するために資産売却等をするなど自己の保身に走っているかのような経営を行っている旨、若手人員の離職が相次ぎ、新たな人員の補充も行われないため、企業価値が毀損し続け、事業存続も危うい事態となっている旨等が記載されておりました。

労働組合が筆頭株主である当社に対し、直接このような書面を送付してくることは、会社として危機的な状況にあると考え、当社は NFK 労働組合と面談を行い、事実確認を行いました。なお、NFK 労働組合は、NFK の取締役会宛にも当社が受領した要望書と同内容の要望書を送付しておりますが、NFK の取締役会で常勤取締役 3 名から本件が話題に上ることもなく、また、NFK 労働組合の代表組合員によると、取締役会から何の連絡すらもないとのことでした。

その結果、NFK が更なる成長を遂げ、企業価値の向上を図るためにも、関口陽介氏、古池政巳氏及び田端雅和氏の常勤取締役 3 名を直ちに解任した上で、NFK 及びそのグループ企業の事業に対する知見、技術及び人脈を有する新たな取締役を選任する必要があるとの結論に至りました。

かかる状況において当社は、以前より NFK の中核子会社である日本ファーンエス株式会社と事業を行っている株式会社 GPE（以下「GPE 社」といいます。）の代表取締役である谷端一樹氏へ打診を行い、協議を重ねた結果、同氏より、NFK の取締役候補者となることについての了承を得ております。

GPE 社は、プラントエンジニアリング事業をはじめ、バイオマス発電事業等を手掛けており、NFK のプラントエンジニアリング事業及び燃焼器事業との親和性は非常に高く、両社が結びつくことにより、プラントエンジニアリング事業及び燃焼器事業の売上増加が大いに見込めます。また、GPE 社は、地方の過疎化が進んでいる複数の地域に発電用設備を建築し、その運営及び維持に現地の人材を雇用する等の事業計画を有しており、今後、地方創生の一翼を担うことができる企業であり、特に、発電設備において副次的に生成される温水は、農業で使用しているビニールハウスの温度管理にそのまま使用でき、発電の燃料となる木材は、その地域の林業で生じた間伐材を直接仕入れることにより農業及び林業への貢献が可能であり、NFK の製造している機器がそのスキームの中で中核機器として有効活用されると考えております。

また、谷端一樹氏とともに取締役候補者としております松永敏宏氏及び関昌弘氏は、予てより谷端一樹氏と業務上の親交が深く、松永敏宏氏はその人脈により NFK の顧客開拓及び事業拡大に、関昌弘氏は自身の有する専門知識の活用による事業基盤の安定化に、それぞれ貢献するものと考えております。

以上のとおり、直ちに常勤取締役 3 名を解任し、谷端一樹氏らを取締役として選任することが、NFK の業容拡大による企業価値の向上、ひいては一般株主の利益に資すると考えますので、臨時株主総会の招集を請求させていただく次第です。

【取締役候補者の略歴】

候補者 番号	氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当並びに 重要な兼職の状況	所有する当 社の株式数
1	たにばた ひでき 谷端 一樹 昭和 39 年 6 月 26 日	最終学歴 中央大学法学部 卒業 平成元年 4 月 三井造船株式会社プラント事業本部 入社 平成 25 年 9 月 株式会社 GPE 代表取締役 (現) 平成 28 年 3 月 株式会社 GPower 代表取締役 (現) 平成 30 年 11 月 株式会社 WEVCON 取締役 (現)	—
2	まつなが としひろ 松永 敏宏 昭和 37 年 1 月 11 日	最終学歴 慶應義塾大学商学部 卒業 昭和 60 年 4 月 横河電機株式会社 入社 平成 7 年 8 月 プルデンシャル生命保険株式会社 入社 平成 17 年 4 月 慶應義塾大学体育会蹴球部 監督 平成 19 年 4 月 エタニティー株式会社 代表取締役 (現) 平成 19 年 8 月 株式会社 FMI 代表取締役 (現) 平成 28 年 6 月 NPO 法人ヒーローズ 副会長 (現) 平成 29 年 6 月 ヒーローズカップ 実行委員長 (現)	—
3	せき まさひろ 関 昌弘 昭和 37 年 5 月 1 日	最終学歴 上智大学経済学部 卒業 平成元年 10 月 中央クーパーズ・アンド・ライブランド国 際税務事務所 入所 平成 6 年 3 月 公認会計士登録 平成 12 年 7 月 ジャパン・エンターテインメント・マネ ジメント株式会社 代表取締役 平成 12 年 8 月 税理士登録 平成 16 年 4 月 株式会社共栄コンサルティンググループ 取締役 平成 18 年 6 月 五十鈴監査法人 社員 平成 19 年 10 月 関・鎌形会計事務所 共同代表 (現) 平成 24 年 2 月 株式会社ロクリン社 代表取締役 (現) 平成 30 年 11 月 株式会社 WEVCON 取締役 (現)	—

(注) 1. 取締役候補者のうち、当社との間に特別の利害関係を有する者は次のとおりであります。

取締役候補者谷端一樹氏は、株式会社 GPE の代表取締役であり、同社は当社子会社日本ファーンネス株式会社と工業炉燃焼装置関連事業において取引関係があります。

2. その他の候補者と当社との間に特別の利害関係はありません

3. 取締役候補者の関昌弘氏は社外取締役候補者であります。

4. 社外取締役選任の理由について

取締役候補者の関昌弘氏は、会計士及び税理士として高度かつ専門的な見識を有しており、独立した立場で当社の経営を監督する上で適任であると判断いたしました。